







とうみ



東御市へ来た方、戻ってきた方から、選んだ理由や魅力を紹介します。

とうみの好きな所は？



こも 孤田 尖さん  
 (株津・姫子沢)  
 出身地：東京都八王子市1ター

今月は1丁関連の仕事からぶどう農家に転身した孤田尖さんに東御市の魅力を聞きました。  
 ～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

新張のトラック街道から湯ノ丸山を見上げ、青空に映えるその風景を見たその時ふと思った。「オレ明日からここに住もう！」  
 平成22年7月のことでした。

翌週にはアパートを契約し、平日仕事場の東京と週末は東御での暮らしが始まりました。その年の9月、東御の巨峰を初めて食べ、「こんなに美味しいものが世の中にあつたのか？」と感動の渦に包まれ、「このぶどうを作りたい。そして世の中にこの感動の味を広めたい！」と思いつく農家を目指すようになりました。

翌年からぶどう栽培のアルバイトに就き、4年後に新規就農を果たし、今年ぶどう農家として5年目になります。  
 東御は、湯ノ丸山を頂点とした南斜面が広がり、日当たり風通しがよく、雨が少ない、日本でも珍しく乾燥した気候です。昼夜の寒暖差が大きく、ぶどうなど農作物の糖度を高め、味わいを深めます。また火山灰由来の肥沃な土壌もあり日本屈指のぶどう栽培に適した環境です。人が住むにも湿度が低いため、夏場でも過ごしやすく扇風機だけでOKです。一方冬場は気温がマイナス10度以下になることも非常に寒いのですが、昼間は暖かく雪が降ってもすぐに溶けてしまいます。地域にもすぐに馴染んで、ご近所付き合いも良好です。今後もし引き続き、移住者だからこそ見える東御の、なにげない素晴らしさを、ぶどう販売を通じて世の中に発信して行きます。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

次号は市内でワインとシードル造っている荻野貴博さん、朋子さんご夫婦です。



特産巨峰

